

平成29年度 南区長マニフェスト

南区長 渡辺 稔

マニフェスト

現在の南区は人口減少と高齢化が急速に進行し、地域の最重要課題となっており、地域防災力の強化や超高齢社会への対応、子育て支援などとともに喫緊の課題である地方創生に向けた取り組みを実施します。

さらに、南区には、豊かな大地の恵みである「食と花」、長い歴史に培われた伝統文化や匠の卓越した技など、多くの「地域魅力」があることから、今まで培った地域力を活かした取り組みを推進することで、区ビジョンまちづくり計画に掲げた区の将来像『大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち』の実現を目指します。

この方針のもと南区は今年度、以下の4つの取組を重点的に実施します。

1. ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちづくりを推進します。
2. 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちづくりを推進します。
3. 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちづくりを推進します。
4. 大風が無い、獅子が跳ね、ル レクチュエが実るまちづくりを推進します。

マニフェスト実現に向けた取り組み

1 ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちを目指します。

現状 (課題)	<p>区民の防災意識は高く自主防災組織は市内でもトップクラスの結成率ですが、災害時に機能する自治会単位の要援護者支援や避難所運営など、地域の防災力向上に向けた活動の推進が必要となっています。また、市民協働により、今まで培った地域力を活かした取り組みが求められています。</p> <p>超高齢社会を迎え、医療施設や介護施設の受け入れに限りがある中、在宅医療の支援体制について整備が求められています。また、子育て中の保護者の孤立化と育児不安・ストレスなどの問題が発生しています。さらに、障がい者の就労環境は厳しい状況であり、障がい者施設の健全運営のための課題も多くあります。</p>	
	目標	<p>平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「安心して、快適に暮らすまちづくり」、「誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり」、「区民や地域が主役となるまちづくり」に向けた取り組みを進めます。</p>
課題解決策	<p>災害発生時の実効力を高めるため、避難所運営マニュアルを見直し、防災意識を高めるとともに、地域との連携がスムーズに機能することが重要であることから、区民と共に減災に向けたまちづくりを進めるとともに、地域要望や課題を解決するため「地域応援団」と地域が協議をし、一緒になって地域の課題に取り組む方法を確立します。</p> <p>また、空き家の適正管理と利活用を進めるため、自治会別空き家データを構築するほか、空き家関係セミナーを開催します。</p> <p>人口減少・超高齢社会への対策として、地域における高齢者の元気な暮らしを支えるための仕組みづくりや子育て支援を進めます。さらに、健康寿命延伸に向けて、特定健診受診率向上を目指し、ミニドック型集団検診を実施します。</p> <p>障がい者施設が、南区産農産物を使って開発した商品の販売に向けた取組みなど、障がい者の自立を支援します。</p>	

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練の実施 ・空き家対策プロジェクト ・地域要望に対する市民協働の視点に基づいた解決方法の確立（地域応援団） ・地域の茶の間の充実 ・子育て支援リーダーの育成 ・特定検診受診率の向上 ・障がい者自立支援事業
-------------	--

主な取組の指標達成状況	設定数	7	達成数	6
取組結果	<p>安心できる安全なまちづくりを進めるため、総合防災訓練を実施しました。区内の全コミ協のほか、白根高校生徒による防災ボランティアなどが避難所運営や情報伝達訓練等に取り組みました。</p> <p>空き家対策については、市内の先進事例を紹介する空き家セミナーを開催し、自治会等地域と協働して空き家調査に着手しました。</p> <p>子育て中の保護者を応援し子育ての不安解消を図るため、新たな子育て支援リーダースキルアップ研修会や子育て広場を開催するなど支援に努めました。区民の健康寿命を延ばすため、ミニドック型集団健診を実施しましたが、目標値は達成できませんでした。</p> <p>障がい者の自立支援として、南区産の農産品を加工・販売する取り組みや販路拡大の支援を行いました。</p>			
今後の方針	<p>地域団体等のほか、小中学校とも連携を図りながら、地震を想定した総合防災訓練を実施し、地域の防災力向上を目指します。人口減少対策として、空き家調査に引き続き取り組みます。地域団体等との情報共通を図りながら、空き家の適正管理と利活用に向けて空き家セミナー（相談会）等の空き家対策に取り組みます。</p> <p>少子化対策・子育て支援として「子育てオーエンジャー☆みなみ」による子育て広場の充実を図ります。地域で高齢者を支える意識の醸成や体制作りに取り組みます。</p>			

2 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちを目指します。			
現状（課題）	<p>区内に軌道系の公共交通機関がなく、主にバス運行が区民の重要な移動手段となっています。区バスは、利用者が伸びている路線があるものの全体としては横ばいとなっており、運行頻度やルートを改善するなどしていますが、効率的な交通システムの構築が困難な状況にあります。</p> <p>都市基盤となる幹線道路の適切な維持管理により、車両走行性の改善や歩行者の安全性向上、橋梁施設の長寿命化に努めています。</p>		
課題解決策	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">目標</td> <td>平成 34 年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「交通の利便性の高いまちづくり」に向けた取り組みを進めます。</td> </tr> </table> <p>区バスについては国道 8 号線を基軸とし、区内中心部や近隣地域へのアクセス機能や路線相互の乗換機能を高めます。</p> <p>国道 8 号バイパス全線供用後の現国道 8 号の安心安全な空間とにぎわいの創出を含め、道路空間利用形態について地域・民間事業者が主体となって検討を進めます。</p> <p>早期の点検・補修により基幹道路と橋りょうの維持管理を実施し、さらなる長寿命化を進めます。</p>	目標	平成 34 年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「交通の利便性の高いまちづくり」に向けた取り組みを進めます。
目標	平成 34 年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「交通の利便性の高いまちづくり」に向けた取り組みを進めます。		

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・区バス運行事業 ・国道8号を含めた道路空間利用形態の検討（にいがた南区創生会議） ・基幹道路と橋りょうの適切な維持管理
-------------	--

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	3	達成数	2
今後の方針	<p>自治協議会とともに区バス・乗合タクシーの利用啓発に取り組みました。また、車内を水族館のように装飾したり、利用促進のための説明会を開催しました。国道8号を含めた道路空間利用形態の検討については、平成29年4月に区内の民間団体等が中心となって「にいがた南区創生会議」が発足し検討を進めており、平成30年6月10日には「ミニマルシェ」の開催を計画しています。また、道路・橋りょうの計画的な整備・維持補修については、上半期の工事執行に努めました。</p> <p>区バスについては、車両をノンステップバス2台に更新し、地元の意向を踏まえながら利便性の高いダイヤとなるよう改善を図ります。ぐるりん号については、平成30年度が社会実験の最終年度になるため、本格運行に移行できるよう継続して利用促進に取り組みます。国道8号4車線化については、国や地域と連携を図りながら、今後も協議します。平成31年3月の国道8号白根バイパス全線開通に向けて、道路空間再編成を検討します。</p>				

3 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちを目指します。					
現状（課題）	<p>南区で盛んな果樹・切り花などの園芸や畜産の生産性を高めるために「食と花の銘産品」を指定し、市内外に広くPRを行っていますが、農業従事者の高齢化が進み、担い手が減少しているため、生産量は増加していない現状です。消費者と農業者の交流の場や農業体験の場を設定し、農産物「食と花」を大いにPRしていますが、来て見て買って食して楽しんでいただく取り組みや安心安全な農産物の生産とともに、農商工連携による食品の付加価値化を進める6次産業化の推進が求められています。</p> <p>また、商店主の高齢化や後継者不足により廃業や空き店舗、更地が目立つなど、まちなかの活力が失われつつあることから、南区の商業の中心である白根地区商店街に元気を取り戻し地域商業の拠点として強化することが重要になります。伝統工芸品である白根仏壇・白根絞りに関しては、技術の継承が課題となっています。</p>				
課題解決策	目標	<p>平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり」、「いきいきと働けるまちづくり」に向けた取り組みを進めます。</p>			
課題解決策	<p>農業・商業・工業の連携による6次産業化・12次産業化への取り組みを支援し、農業活性化センターや食品加工支援センターを活用した地域ビジネスの展開や新たな雇用創出を図るとともに、空き店舗の活用や伝統工芸品のプロモーションに取り組みます。</p> <p>また、国家戦略特区の規制緩和を活用した農業者の新規参入や、特定事業者の事業拡大を支援します。</p> <p>廃棄処分されていた果樹の剪定枝をバイオマスとして活用を図るとともに、高品質な米を生産するため、たい肥散布の推奨を進めます。</p>				

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携がっちりプロジェクト ・ビジネスプランコンテスト ・白根仏壇プロモーション ・国家戦略特区の規制緩和を活用した新たな特定事業者の掘り起こし ・南区資源循環事業 ・南区拠点商業地活性化推進事業計画の推進
-------------	---

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	4	達成数	3
今後の方針	<p>農業・商業・工業の連携による地域産業の活性化や雇用の創出に繋げるため、南区のお土産アイデアを7月から募集し、目標を大きく上回る78件の応募がありました。また、南区の伝統工芸「白根仏壇」の工芸技術継承のため、仏壇製造技術を活かした新たな商品の試作品を作成しました。商店街の空き店舗への新規出店は、2店舗が出店しました。</p> <p>生産性向上のため資源循環事業と農地集積を推進します。ビジネスプランコンテストの優秀プランには、出店に向けた創業支援を行うとともに、アイデアプランの活用を行い、雇用の創出につなげます。伝統工芸である白根仏壇の技術をプロモーションし、新たな製品づくりを模索します。まちなかの活性化のため、空き店舗と白根の町屋の活用を検討します。</p>				

4 大風が舞い、獅子が跳ね、ル レクチエが実るまちを目指します。					
現状（課題）	<p>歴史と伝統を誇る白根大風合戦、重要文化財旧笹川家住宅（笹川邸）、白根の町屋などの観光資源、財産を有機的に結合し、南区の魅力をさらに磨きあげ、交流人口の増大につなげるとともに、多彩な地域の宝ものを大切に受け継ぎ、保存を図る必要があります。</p>				
課題解決策	目標	<p>平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた「にぎわいと多彩な交流のまちづくり」に向けた取り組みを進めます。</p> <p>白根大風合戦、笹川邸、郷土芸能角兵衛獅子、その他地域固有の文化施設や伝統行事に、南区に優位性のある「農・食」を組み合わせた事業を展開するとともに、南区PR大使やSNSなどを効果的に活用し、交流人口の拡大につなげます。また、地域固有の文化施設や伝統行事などの魅力を向上させるとともに、保存と活用を図り次世代へ継承します。</p>			
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・区公式ツイッターの運営 ・白根大風タウンガイドとの協働 ・南区観光協会への支援 ・南区PR大使の活用 ・「重要文化財旧笹川家住宅保存活用計画」基づく修繕計画の作成 				

	主な取組の指標達成状況	設定数	4	達成数	3
取組結果	<p>区公式ツイッターは、日々の情報配信によりフォロワー数が増加しました。</p> <p>商店街を中心としたまちあるきについては、「南区まちあるき講座」を計画的に開催し、まちあるきの魅力発信を支援しました。白根地区の白根大凧タウンガイドの活動のほか、月潟地区にも拡大を図りました。NGT48のメンバーで南区に関係のある2名をPR大使に任命し、白根大凧合戦パレードやルレクチエ解禁祭などへの参加を通じて、区のイメージアップと情報発信に努めました。</p> <p>また、国の有形文化財である旧笹川家住宅と文化施設のしろね大凧と歴史の館の2施設で連携イベント「南区文化施設フェア」を開催し、集客に努めました。</p>				
今後の方針	<p>区の情報発信として、ホームページやツイッターのアクセス数などを分析し、魅力のPRを図り、南区PR大使の効果的な活用に努めます。</p> <p>また、「旧笹川家住宅」「しろね大凧と歴史の館」「月潟角兵衛獅子」など、南区内の文化施設や文化活動の連携を図りながら、南区の魅力アップに取り組みます。</p>				

平成29年度 南区長マニフェストに掲げた取組の指標一覧表

1 ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標				H29結果
1	総務課	地域住民との協働で、安心して安全なまちづくりを進めます。	・南区総合防災訓練の実施 ・中学校防災教室 ・高校生災害ボランティア育成 ・避難所運営マニュアルの検証	総合防災訓練訓練参加者数(人)	-	1,148	1,243	1,300	1855	・南区総合防災訓練時に避難所運営マニュアルに基づいた訓練及び防災会での伝達訓練の参加者数	・南区総合防災訓練を7月9日に実施。参加者1,855名。南区総合防災訓練の内容を充実させ、白根高校生徒による防災ボランティアの協力を得て実施。地域が行う防災訓練6カ所へ専門家を派遣。 目標指数を達成しました。	達成
2	総務課	空き家の適正管理と利活用を進めるため空き家対策プロジェクトを行います。	・空き家セミナーの開催 ・空き家調査 ・庁内体制の構築 ・利活用の検討 (所有者アンケートの実施)	自治会別の空き家データの構築(自治会数)	-	-	-	120	127	・南区自治会数240	・8月31日 空き家セミナーを実施。参加者122名。9月末～11月末 コミ協単位で空き家調査説明会を開催し、自治会による簡易調査を開始。10月以降～自治会による簡易調査結果をもとに、職員による現地調査に着手、3月末現在、127自治会の調査を終了。目標指数を達成しました。	達成
3	建設課	地域の地域要望・課題について、「地域」と建設課の「地域応援団」が協働で解決する方法を確立します。	・各コミュニティ協議会での説明会・懇談会の開催	各コミュニティ協議会での説明会・懇談会の開催回数	-	-	24	24	24	・12コ協に各2回	・全コミュニティ協議会を対象に、前期は地域要望の説明会、後期は地域要望の回答の懇談会を12コ協、各2回開催し、地域の要望について一緒に検討しました。	達成
4	健康福祉課	地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを推進します。	・地域の茶の間の充実 ・身近な生活支援体制の構築	地域の茶の間の件数(件)	-	-	52	54	58	-	・新たに7件開設し目標を達成できた。1件廃止になり、28年度からの累計は、6件増の計58件となりました。	達成
5	健康福祉課	子育て中の保護者を応援し、子育ての不安解消を図ります。	・子育て支援リーダースキルアップ研修の開催 ・子育て広場の開催	子育て支援リーダーの人数(人)	14	16	17	18	18	・子育て支援リーダースキルアップ研修会を実施し、課題を上げて今後の活動に生かし、新たなメンバーを育成する。	・子育て支援リーダーのメンバーを1名増やし目標を達成しました。	達成
6	健康福祉課	区民の健康づくりへの関心を高め、関係機関と協働した健康づくり対策を強化し、健診受診者を増加させます。	・ミニドック型集団健診の実施(6会場7回実施) ・健診受診申込・PR等のコミ協への委託とまんがによる健診PR	ミニドック型集団健診2年未受診者からのからの受診者数(人)	-	-	192	400	196	-	・2年未受診者からの受診者数は196人で前年度を上回りましたが、目標値の49%となり達成できませんでした。	未達成
7	健康福祉課	障がい者(施設)が、地元の農産品を加工・販売することで、就労意欲を促し自立へ向けた取組を支援します。	・安定した加工品の製造 ・販路の確保 ・PR手法の検討	販売店舗の数(店)	-	-	-	10	16	・販路の支援	・販売店舗として計16カ所の販路を確保し目標を大幅に上回って達成しました。	達成

2 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標				H29結果
8	地域課	区内の生活交通を維持するとともに、より利便性を高めます。	・区バス運行事業 ・住民バス補助	区バス利用者数 乗合タクシー利用者数 利用者計(人)	24,245 2,487 計26,732	24,150 2,218 計26,368	26,452 2,170 計28,622	26,000 2,000 計28,000	26,675 2,735 計29,410	-	・自治協議会とともに区バス・乗合タクシーの利用啓発に取り組みました。車内を水族館のように装飾したり、利用啓発のための説明会を開催することなどにより、区バス・乗合タクシーの利用者を増やすことができました。	達成
9	建設課	国道8号白根バイパスの平成30年度全線供用後の現国道8号を含め、区内の道路空間利用形態について検討を進めます。 また、国道8号北部地域の渋滞緩和のためワークショップを開催し、提言書の取りまとめを行います。	・にいがた南区創生会議(まちなか活性化部会)で地域、民間事業者と一緒に検討 ・国、警察、地域、地権者参加のワークショップを開催 ・結果を取りまとめ、「南区北部地域の安全・安心して便利な道路を考える会」として新潟国道事務所へ提言書を提出	検討会の開催(回)	-	-	-	6	10	・平成29、30年の継続とし、今年度6回の検討会を開催 ・平成30年度は検討会の開催と報告書をまとめる。 ・平成30年6月10日に市道を利用した「ミニマルシェ」を開催する計画で準備中です。 ・提言書の作成及び提出はできませんでしたが、地権者の意見を直接聞き取った結果、幅員計画図の作成意見が多数あったことから、現地測量と幅員計画(素案)の図面を新潟国道事務所が作成しました。	・にいがた南区創生会議を2回、まちなか活性化部会を8回、合計10回開催し、現国道8号を含め、区内の道路空間利用形態について考えました。	概ね達成
10	建設課	道路・橋りょうの計画的な整備・維持補修を早期に実施し、住みよいまちづくりに努めます。	・上半期(4～9月)の発注率向上のため、定期的な工事発注状況の確認と予算執行管理の実施	上半期の工事発注率(%) (発注件数/当初予定件数)	57 (※工事予算ベース)	77 (※工事予算ベース)	87 (※工事予算ベース)	75以上	78	・1回/毎月、発注状況の確認と予算執行管理の実施(平成29年度は工事発注件数ベースの発注率)	・上半期の工事発注率は78%で目標を達成しました。	達成

3 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標				H29結果	
11	産業振興課	農業・商業・工業の連携により農業の6次産業化・12次産業化を推進し、地域産業の活性化や雇用の創出を図ります。 併せて、「新潟・白根伝道」の伝統工芸技術の継承と後継者育成を推進します。	・農商工連携がっちりプロジェクト ・南区健康オムギプロジェクト ・南区ビジネスプランコンテスト ・白根伝道プロモーション	ビジネスプランコンテスト応募数 ①農産物を使ったお土産品・名産品のアイデア ②地域産業・伝統工芸品などの開発アイデア	-	-	-	30	30	78	・農協、商工会、企業、学校、農業者、行政などが、一体となって推進。 ・農業活性化センター、食品加工支援センターとの連携 ・応募数は、アイデア2部門(①②)の合算とする。	・農業・商業・工業の連携による地域産業の活性化や雇用の創出に繋げるため、南区のお土産アイデアを7月から募集したところ、区外からの反響も大きく目標を大きく上回る78件の応募があり、テーマごとの各部門別に最優秀賞と優秀賞が選ばれました。 ・また、南区の伝統工芸「白根伝道」の工芸技術継承のため、伝道製造技術を活かした新たな商品の試作品の開発に努めました。	達成
12	産業振興課	南区の地域活性化と観光振興のため、国家戦略特区の規制緩和を活用した農業者の新規参入など、ニューフードバレー構想の取り組みを推進します。	・新たな特定事業者の掘り起し ・特定事業者の事業拡大支援 ・国家戦略特区概要の戦略的情報発信	候補事業者の選定(件数)	-	-	-	2	2	・H28年3月、南区に「特定農業法人株式会社JR新潟ファーム」が誕生 ・H28年3月、新潟市と東日本旅客鉄道株式会社新潟支店は「食に係る地域活性化連携協定」を締結	・新たな特定事業者を掘り起こすため、関係機関との連携や情報収集に努め、また事業拡大等を検討している農業者に対しては、たびたび情報交換を行うなど取組の推進に努めました。	達成	
13	産業振興課	消費者に安心・安全な農産物を届けるために、環境保全型農業を推進します。	・資源循環事業 ・環境保全型農業直接支払交付金事業 ・多面的機能支払交付金事業	たい肥施用水田面積(%) 田んぼダム実施面積(%)	87 -	97 2,571	112 2,834	120 2,900	108.5 3,065.5	・環境保全型農業直接支払交付金の対象面積のうち、たい肥施用水田面積とする。 ・南区水田面積:5,606% (土地改良区賦課面積)	・晩生の米を栽培していた水田において、収穫後に天候不順が続いた影響により、たい肥の散布を実施することができませんでした。 ・また、田んぼダムについては、これまでJAや土地改良区と協力してPRを行ってきたことが農家等に浸透し、目標を大きく上回る取組面積を達成しました。	概ね達成	
14	産業振興課	商店街の元気とまちなかの活性化を目指します。	・南区拠点商業地活性化推進事業計画の推進	拠点商業地内の空き店舗を利用した新規出店や交流スペースの整備(カ所)	-	6	5	2	2	・カレーショップ(H29.4.27open) ・映画撮影拠点(H29.6.1入居)	・空き店舗を活用した商店街の活性化においては、カレーショップの新規出店及び映画撮影拠点としての利用がありました。	達成	

4 大風が舞い、獅子が跳ね、ルレクチュが突るまちを目指します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標				H29結果	
15	地域課	区の持つ広報媒体をフルに活用し、区政情報や、区の魅力を効果的に発信していきます。	・区役所だより発行事業 ・区のホームページの運営 ・区公式PRツイターの運営 ・市政情報モニターの運営	区の年間欄入れ数(件)	-	(6)	(10)	(16)	30	56	・区内各課へバリエーションの重要性について周知するとともに、必要に応じて各課へ報道欄入れを促す。 ・区内の旬な情報を取材し、PRツイッターなどを利用して、週に1回以上、区の情報等を発信する。	・庁内向けにバリエーション研修を行うとともに、報道欄入れの積極的な利用を呼びかけることにより、目標を大きく上回りました。 ・ツイッターを通じて区内の旬な情報をタイムリーに発信することにより、南区の身近な情報源としての認知度が高まり、目標を大きく上回りました。	達成
16	産業振興課	商店街の元気とまちなかの活性化を目指します。	・みなみらいプロジェクトとの協働 ・しろね大風タウンガイド等との協働	商店街を中心としたまちあそびの開催回数(回)	-	4	11	12	14	・まちあそび参加人数 332人 ・タウンガイド登録 16人 ・風合戦ボランティアガイド4回、まちたんけん&新聞づくり、月湯まちあそび、南区まちあそび講演会ほか	・風合戦ボランティアガイドをはじめ、まちたんけん&新聞づくりや月湯及び南区まちあそび講演会を計画的に実施し目標を上回りました。	達成	
17	産業振興課	南区の農産物や観光資源を活用し、観光イメージの定着を図りながら交流人口の拡大を目指します。	・南区観光協会補助金 ・南区PR大使の活用 ・観光農園とレストランとの連携 ・南区観光協会と連携 ・しろね大風と歴史と館等観光施設との連携	南区観光協会ホームページアクセス数(件) 南区観光協会Facebookフォロワー数(件)	-	291,915	297,729	300,000	316,317	<ホームページ> ・前年対比 6.24%増 <フォロワー数内訳> ・風合戦 1,070件、観光協会 424件	・投稿担当者を拡充したことで、より広範囲の情報発信を行える体制が整い、順調にアクセス数・フォロワー数ともに増加し、目標を達成しました。	達成	
18	地域課	文化施設(重要文化財旧笹川家住宅・しろね大風と歴史の館)の一体的な管理及び活用に努め、利用の促進を図ります。	・「重要文化財旧笹川家住宅保存活用計画」に基づいた修理・整備計画の策定 ・「来てて笹川邸」などをPRするイベントの実施 ・しろね大風と歴史の館の管理	重要文化財旧笹川家住宅 しろね大風と歴史の館 入館者計(人)	5,732 16,462 計22,194	6,944 17,654 計24,598	5,859 22,649 計28,508	6,000 22,000 計28,000	5,050 18,576 計23,626	・しろね大風と歴史の館(H29年度より地域課所管)	・旧笹川家住宅については、保存活用計画に基づく施設整備に係る平成30年度の予算の確保ができました。例年のイベントの他に両施設の連携イベント「南区文化施設フェア」を実施し、各施設の魅力をPRと誘客を図りましたが、団体旅行者、海外ツアー客の減少により目標を達成することができませんでした。	概ね達成	